

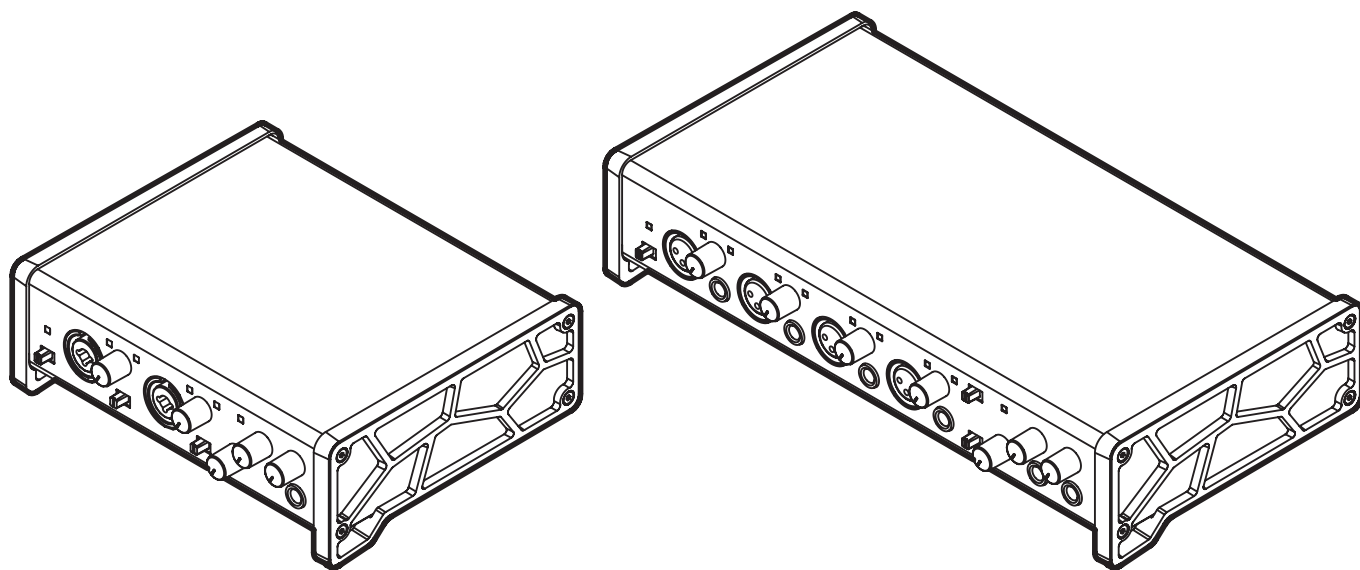
TASCAM

US-2x2HR

US-4x4HR

USB Audio/MIDI Interface

リファレンスマニュアル



本機をパソコンに接続する前に、専用ソフトウェアをパソコンにインストールしておく必要があります。

目次

第1章 はじめに	3	第10章 仕様	22
本機の概要.....	3	定格.....	22
本書の表記.....	3	入出力定格.....	22
商標および著作権に関して.....	3	アナログオーディオ入力定格.....	22
第2章 各部の名称と働き	4	アナログオーディオ出力定格.....	22
フロントパネル.....	4	コントロール入出力定格.....	22
リアパネル.....	5	オーディオ性能.....	22
第3章 インストール	6	動作条件.....	23
必要なシステム.....	6	Windows.....	23
Windows の必要なシステム.....	6	Mac.....	23
Mac の必要なシステム.....	6	iOSデバイス.....	23
iOSデバイスの必要なシステム.....	6	対応オーディオドライバー.....	23
対応するオーディオドライバー.....	6	一般.....	23
専用ソフトウェアをインストールする.....	7	寸法図.....	24
Windows 専用ソフトウェアのインストール.....	7	ブロックダイアグラム.....	25
Mac 専用ソフトウェアのインストール.....	8		
Gatekeeperについて.....	8		
専用ソフトウェアのアンインストール.....	9		
Windows 専用ソフトウェアのアンインストール.....	9		
Mac 専用ソフトウェアのアンインストール.....	9		
第4章 準備	10		
電源を接続する.....	10		
パソコン (Windows / Mac) でご使用の場合.....	10		
iOSデバイスでご使用の場合.....	10		
ACアダプターでご使用の場合.....	10		
コンセントプラグの交換方法 (US-4x4HRのみ).....	11		
外部機器を接続する.....	11		
パソコンの接続.....	12		
iOSデバイスとの接続.....	12		
オーディオの接続.....	12		
MIDIの接続.....	13		
ダイレクトモニター機能を使う.....	13		
第5章 Settings Panelの設定	14		
Settings Panelを開く.....	14		
Windows.....	14		
Mac.....	14		
Settings Panelについて.....	14		
最新情報のお知らせ機能.....	16		
ソフトウェアバージョンおよびファームウェアバージョンの 確認方法.....	16		
ソフトウェア・ファームウェアの自動更新機能.....	16		
第6章 アプリケーションガイド	17		
DAWソフトウェア.....	17		
バンドルDAWソフトウェア.....	17		
その他のDAWソフトウェア.....	17		
Windows.....	17		
macOS.....	17		
iOS.....	17		
第7章 スタンドアローンモード	18		
概要.....	18		
スタンドアローンモード動作時の各設定.....	18		
Settings Panelの設定.....	18		
第8章 MIDI インプリメンテーションチャート	19		
第9章 トラブルシューティング	20		

本機の概要

US-2x2HR

- 2系統のXLR / TRS コンボジャック入力を装備
- クリアで自然な音質、超低ノイズUltra-HDDA (High Definition Discrete Architecture) マイクプリアンプを2基搭載
- TRSアナログ出力端子 (LINE OUT 1-2) を装備
- 1系統のヘッドホン出力を装備

US-4x4HR

- 4系統のXLRおよびTRS入力を装備
- クリアで自然な音質、超低ノイズUltra-HDDA (High Definition Discrete Architecture) マイクプリアンプを4基搭載
- TRSアナログ出力端子 (LINE OUT 1-4) を装備
- 2系統のヘッドホン出力を装備

US-2x2HR / US-4x4HR共通

- 最大24ビット / 192kHzのハイレゾフォーマットに対応
- +48Vファントム電源の供給が可能
- ギターやベースなどの直接入力 (INST) に対応
- MIDIキーボードなどの接続ができるMIDI入出力端子を装備
- ダイレクトモニター機能により遅延がない入力モニターが可能
- 入出力のステレオ / モノラル切り換えに対応したループバック機能を搭載 (Windows / Macに対応)
- USB Type-C端子を装備 (USB2.0規格)
- USBバスパワー駆動に対応
- 機能的でシンプルなデザインのコントロールソフトウェアUS-HR Settings Panelで本体の設定が可能
- 極小バッファサイズが設定でき、超低レイテンシーな録音環境を構築可能な高品質ドライバー (Windows)
- デスクトップでの優れた操作性を提供するアングルドデザイン
- 豊富なバンドルソフトウェア
- iPadなどのiOSデバイス接続に対応

パソコン操作に関して

本書の説明に出てくるパソコンの基本操作について不明な点がある場合は、お使いのパソコンの取扱説明書をご参照ください。本機を使用するには、パソコンに専用ソフトウェアをインストールする必要があります。

ソフトウェアのインストールについては、7ページ「専用ソフトウェアをインストールする」をご覧ください。

本書の表記

本書では、以下のような表記を使います。

- パソコンのディスプレイ上に表示される文字を「OK」のように表記します。
- 本書の「iOS」の表記には、「iOS」および「iPadOS」を含んで表記しています。
- 必要に応じて追加情報などを、[ヒント]、[メモ]、[注意]として記載します。

ヒント

本機をこのように使うことができる、といったヒントを記載します。

メモ

補足説明、特殊なケースの説明などを記載します。

注意

指示を守らないと、人がけがをしたり、機器が壊れたり、データが失われたりする可能性がある場合に記載します。

⚠注意

指示を守らないと、人がけがをする可能性がある場合に記載します。

商標および著作権に関して

- TASCAMおよびタスカムは、ティアック株式会社の登録商標です。
- Microsoft および Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- Apple、Mac、macOS または iPad は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。iPhone の商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。
- Lightning は、Apple Inc. の商標です。
- App Store は、Apple Inc. のサービスマークです。
- IOSは、Cisco の米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- ASIO は、Steinberg Media Technologies GmbH の商標およびソフトウェアです。

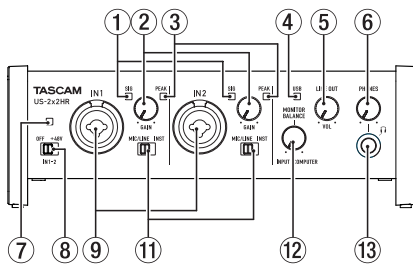


- MIDIは、一般社団法人音楽電子事業協会 (AMEI) の登録商標です。
- その他、記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。

第2章 各部の名称と働き

フロントパネル

US-2x2HR



① SIGインジケーター

信号が入力されているとき（-32dBFS以上）に緑色に点灯します。

② GAINつまみ

入力端子からの入力レベルを調節します。
PEAKインジケーターが点灯しないように調節してください。

③ PEAKインジケーター

入力信号が歪む直前（-1dBFS以上）から赤く点灯します。

④ USBインジケーター

USB接続が有効なときに点灯します。

⑤ LINE OUTつまみ

リアパネルのLINE OUT (BALANCED) 1-2端子 (15) の出力レベルを調節します。

⑥ PHONESつまみ

PHONES端子 (US-4x4HRは Ω_1 端子および Ω_2 端子) の出力レベルを調節します。

⚠ 注意

ヘッドホンを接続する前には、PHONESつまみで音量を最小にしてください。突然大きな音が出て、聴覚障害などの原因となることがあります。

⑦ ファントム電源インジケーター

ファントム電源スイッチが「+48V」のときにインジケーターが点灯します。

注意

US-4x4HRをUSBバスパワーで動作させるときは、市販のType-C - Type-Cケーブルで、パソコンのUSB Type-C端子に接続します。電源供給に問題がある場合はファントム電源インジケーターが点滅しますので、付属の専用ACアダプター (PS-P1220E、DC12V) をご使用ください。

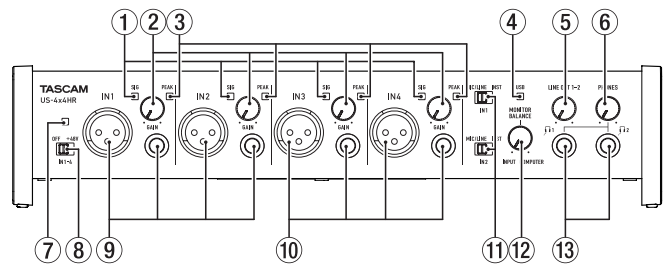
⑧ ファントム電源スイッチ

IN1 / IN2端子およびIN3 / IN4端子 (US-4x4HRのみ) のXLR端子に+48Vのファントム電源を供給するためのスイッチです。(→ 12ページ「マイクを接続する」)

⚠ 注意

LINE OUTつまみとPHONESつまみを下げた状態でファントム電源スイッチの+48V / OFF切り換えを行ってください。マイクによっては大きなノイズを発生し、モニター機器から突然大きな音が出て、機器の破損や聴覚障害の原因になる可能性があります。

US-4x4HR



⑨ IN1 / IN2 端子

US-2x2HRは、XLR / TRS コンボジャックタイプのアナログ入力端子です。

US-4x4HRは、XLRジャックおよびTRS標準ジャックのアナログ入力端子です。

ハイインピーダンス入力（ギターなどの直接入力）にも対応しています。

TRSジャックは、MIC/LINE INSTスイッチ (11) により、バランスライン入力 (MIC/LINE時) とアンバランス入力 (INST時) の切り換えが可能です。

ギターやベースなどの楽器を直接接続する場合は、MIC/LINE INSTスイッチ (11) を「INST」にします。

⑩ IN3 / IN4 端子 (US-4x4HRのみ)

XLRバランスタイプのアナログマイク入力とTRS標準ジャック対応のバランスライン入力端子です。

メモ

US-4x4HRにはIN1 / IN2端子 (9) およびIN3 / IN4端子 (10) のそれぞれに、2種類の入力端子 (XLRとTRS) があります。同じインプットのXLR端子とTRS端子には、同時に信号を入力しないでください。同時に信号を入力すると、信号が正しく入力されません。

⑪ MIC/LINE INSTスイッチ

IN1 / IN2端子の入力ソースに応じて設定します。

電子楽器やオーディオ機器またはマイクなどを接続する場合は「MIC/LINE」に、ギターやベースなど出力インピーダンスの高い機器を接続する場合は「INST」にします。

⑫ MONITOR BALANCEつまみ

Settings Panelの「LINE OUT 1-2」または「LINE OUT 3-4」の設定が「Monitor Mix」のとき、入力端子からの入力信号と、パソコンからの出力信号のモニターバランスを調節することができます。(→ 13ページ「ダイレクトモニター機能を使う」)

MONITOR BALANCEつまみを左側 (INPUT) に回すと本機の入力端子からの信号が大きくなり、右側 (COMPUTER) に回すとパソコンからの信号が大きくなります。

このつまみは、モニターバランスを調節するためのつまみですので、録音レベルには影響しません。

⑬ PHONES端子

ステレオヘッドホンを接続するためのステレオ標準ジャックです。(US-4x4HRは Ω_1 端子および Ω_2 端子)

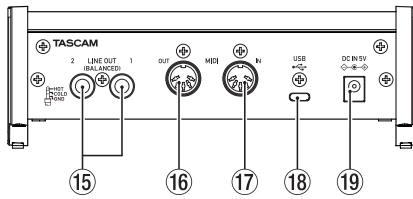
LINE OUT (BALANCED) 1-2端子と同じ信号が出力されます。ミニプラグのヘッドホンを接続する場合は、変換アダプターをご使用ください。

メモ

US-4x4HRの Ω_1 端子および Ω_2 端子からは、同じ信号が出力されます。

リアパネル

US-2x2HR



⑭ LINE OUT (BALANCED) 3-4 端子 (US-4x4HRのみ)

TRS標準ジャックタイプのアナログライン出力です。

- TRS (Tip : HOT、Ring : COLD、Sleeve : GND)

⑮ LINE OUT (BALANCED) 1-2 端子

TRS標準ジャックタイプのアナログライン出力です。

- TRS (Tip : HOT、Ring : COLD、Sleeve : GND)

LINE OUT (BALANCED) 1-2 端子およびLINE OUT (BALANCED) 3-4 端子 (US-4x4HRのみ) から出力する信号は、Settings Panel上で設定できます。(→ 14 ページ「Settings Panelについて」)

⑯ MIDI OUT 端子

Din 5 ピンの標準MIDI出力端子です。
MIDI信号を出力します。

⑰ MIDI IN 端子

Din 5 ピンの標準MIDI入力端子です。
MIDI信号を入力します。

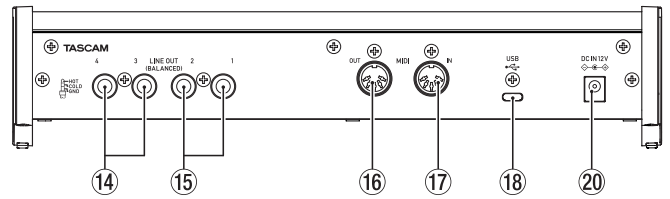
⑱ USB 端子

USB Type-CのUSBポートです。
USBケーブルを使ってパソコンまたはiOSデバイスと接続します。

注意

- パソコンとUSB接続で使用する場合、パソコンのUSB端子から電源を供給します。パソコンによっては、USBポートから本機を動作させるために必要な電源を供給することができない場合があります。その場合には、専用ACアダプターを接続してお使いください。
- USB3.0以上のポートに接続時は、USB2.0と同等なHigh Speedモード(最大480Mbps)で動作します。
- パソコンのサスペンドモードからの復帰後、正常に動作しない場合は、本記の電源を入れ直すか、USBケーブルの接続を直ししてください。

US-4x4HR



⑲ DC IN 5V 端子 (US-2x2HRのみ)

iOSデバイスなど本機に電源が供給できない機器と接続する場合、別売の専用ACアダプター (PS-P520E、DC5V) を電源デバイスをDC IN 5V端子に接続する必要があります。(→ 10 ページ「iOSデバイスでご使用の場合」)

メモ

US-2x2HRを付属のUSBケーブルを用いてパソコンと接続して使用する場合はパソコンのUSB端子から電源を供給しますので、別売の専用ACアダプター (PS-P520E、DC5V) は必要ありません。

ただし、パソコンによっては、USBポートから本機を動作させるための必要な電源を供給することができない場合があります。その場合には、別売の専用ACアダプター (PS-P520E、DC5V) をご使用ください。

⑳ DC IN 12V 端子 (US-4x4HRのみ)

以下の使用条件の場合は、付属の専用ACアダプター (PS-P1220E、DC12V) を接続します。(→ 10 ページ「ACアダプターでご使用の場合」)

- USBバスパワー供給電流が十分でない場合。
- iOSデバイスなど本機に電源が供給できない機器と接続する場合。

第3章 インストール

必要なシステム

最新の対応OS状況については、TASCAMのウェブサイト (<https://tascam.jp/jp/>) にて、ご確認ください。

Windows の必要なシステム

対応OS

Windows 10 32ビット
Windows 10 64ビット
Windows 8.1 32ビット
Windows 8.1 64ビット
Windows 7*

Windows 7 32ビット SP1 以上
Windows 7 64ビット SP1 以上

* Windows 7は、最終バージョンでの動作を確認しています。

対応パソコン

USB2.0以上を装備した Windows 対応パソコン

CPU / クロック

デュアルコアプロセッサ 2GHz以上 (x86)

メモリー

2GB以上

注意

本機の動作確認は、上記のシステム条件を満たす標準的なパソコンを使って行われていますが、上記条件を満たすパソコン全ての場合の動作を保証するものではありません。

同一条件下であっても、パソコン固有の設計仕様や使用環境の違いにより処理能力が異なります。

メモ

お使いのパソコンの環境によってはノイズが発生することがありますので、「電源オプション」画面の「電源プランの選択」を「高パフォーマンス」に設定していただくことをお勧めします。

Mac の必要なシステム

対応OS

macOS Catalina (10.15以降)
macOS Mojave (10.14以降)
macOS High Sierra (10.13以降)

対応パソコン

USB2.0以上を装備したMac

CPU / クロック

デュアルコアプロセッサ 2GHz以上

メモリー

2GB以上

iOS デバイスの必要なシステム

対応OS

iPadOS 13
iOS 13
iOS 12
iOS 11

対応するオーディオドライバー

Windows

ASIO2.0、WDM、MIDI

Mac

Core Audio、Core MIDI

iOS デバイス

Core Audio

専用ソフトウェアをインストールする

本機を使用するには、パソコンに専用ソフトウェアをインストールする必要があります。

専用ソフトウェアは、随時更新されています。最新のソフトウェアは、TASCAMのウェブサイト (<https://tascam.jp/jp/>) から、ご使用のOSに対応した最新のソフトウェアをダウンロードしてください。

- Windows パソコンは、専用ソフトウェアをインストールすると Windows 専用のドライバー、および Windows 専用の Settings Panel (アプリケーション) がインストールされます。
- Macの場合は、専用ソフトウェアをインストールすると Mac専用の Settings Panel (アプリケーション) のみをインストールします。ドライバーは、OS標準ドライバーを使用します。
- iOS デバイスの場合は、iOS標準のドライバーを使用しますので、専用ソフトウェアをインストールする必要はありません。本体の設定を変更する場合は、WindowsパソコンまたはMacにインストールされた Settings Panel (アプリケーション) で行ってください。

注意

ソフトウェアのインストール時には、他のアプリケーションを終了してからインストールを開始してください。

Windows 専用ソフトウェアのインストール

注意

- パソコンと本機をUSBケーブルで接続する前に、Windows 専用ソフトウェアのインストールを完了してください。
- パソコンに Windows 専用ソフトウェアをインストールする前に本機をUSBケーブルで接続し、パソコンに「新しいハードウェアの検出ウィザード」が起動してしまっている場合は、そのウィザードを終了させ、USBケーブルを抜いてください。

Windows 専用ソフトウェアのインストール手順

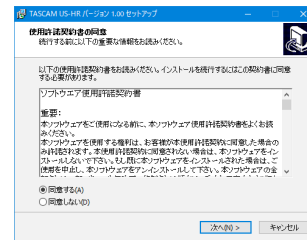
1. TASCAMのウェブサイト (<https://tascam.jp/jp/>) から、最新の Windows 用ソフトウェアをダウンロードし、ご使用のパソコンに保存してください。
2. 保存した Windows 専用ソフトウェア (zip ファイル) をデスクトップなどに解凍してください。
3. 解凍して生成されるフォルダー内にある「TASCAM_US-HR_Installer_x.xx.exe」をダブルクリックすると、自動的にインストールソフトウェアが起動します。

注意

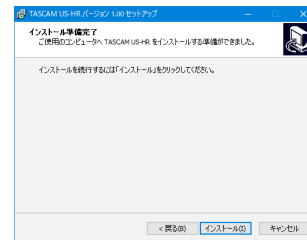
zip ファイルを解凍せずに、ダブルクリックして開かれたフォルダーで exe ファイルを実行した場合には、インストーラーは起動できません。zip ファイルを右クリックして表示されるメニューから「すべて展開...」を選択するなどして解凍してから再度実行してください。

4. 「セキュリティの警告」または「ユーザーアカウント制御」の画面が表示されますので、「はい(Y)」ボタンをクリックします。

5. 使用許諾契約書の内容を確認し、内容に同意ができれば、「同意する (A)」を選択します。
次に「次へ (N) >」ボタンをクリックします。



6. 次に「インストール (I)」ボタンをクリックします。



7. 次に「インストール (I)」ボタンをクリックすると、インストールが開始されます。(Windows 8.1 / Windows 7)



8. 次の画面が表示されたら、インストール作業は完了です。「完了 (F)」ボタンをクリックします。



インストーラーが終了し、Windows 専用の Settings Panel が起動します。

メモ

ソフトウェアをインストール後に初めて本機をUSB接続すると、デバイスドライバーのインストールが実行されます。このとき Windows は、自動的に Windows Update を検索するため、本機の接続が認識されるまでに時間がかかる場合があります。

しばらくしても本機が認識されない場合、パソコンのディスプレイ右下の通知領域から、ソフトウェアのインストール画面を表示させ、「Windows Update からのドライバーソフトウェアの取得をスキップする」をクリックして、検索を終了させてください。

第3章 インストール

Mac 専用ソフトウェアのインストール

メモ

- パソコンにUSBケーブルで接続する前に、Mac 専用ソフトウェアをインストールしてください。
- Gatekeeperの設定により、インストール中に警告画面が出ることがあります。Gatekeeperについては、8ページ「Gatekeeperについて」をご参照ください。

Mac 専用ソフトウェアのインストール手順

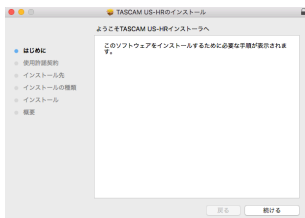
- TASCAMのウェブサイト (<https://tascam.jp/jp/>) から、ご使用のOSに適した最新の Mac 専用ソフトウェアをダウンロードし、ご使用のパソコンに保存してください。
- 保存した Mac 専用ソフトウェアのディスクイメージファイル「US-HR_Installer_x.xx.dmg」ファイルをダブルクリックし、開いたフォルダー内の「US-HR_Installer.pkg」をダブルクリックします。



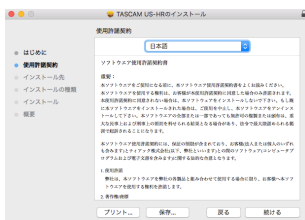
メモ

ご使用の環境により、ダウンロードしたzipファイルが解凍されていない場合があります。その場合は、zipファイルを解凍してからディスクイメージファイルをダブルクリックしてください。

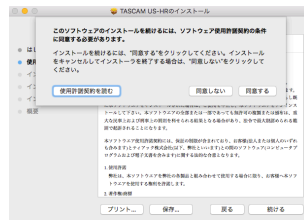
- インストーラーが起動しますので、「続ける」ボタンをクリックします。



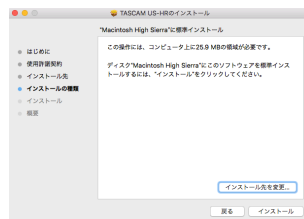
- 次に希望の言語を選択し、「続ける」ボタンをクリックします。



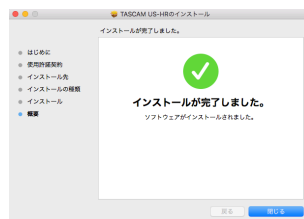
- 「使用許諾契約を読む」ボタンをクリックして、使用許諾契約の内容を確認します。内容に同意ができれば、「同意する」を選択します。次に「続ける」ボタンをクリックします。



- 次に「インストール」ボタンをクリックすると、インストールが開始されます。



- 次の画面が表示されたら、インストール作業は完了です。「閉じる」ボタンをクリックします。



Gatekeeperについて

macOS をお使いの場合、セキュリティ機能のGatekeeper設定により、インストール中に警告メッセージが表示されることがあります。

表示された警告メッセージにより、対処方法が異なります。詳しくは、以下の対処方法をご参照ください。

Gatekeeperの設定を「Mac App Storeからのアプリケーションのみを許可」にしている場合

「US-HR_Installer.pkg」は、Mac App Storeからダウンロードされたものでないため開けません。」というセキュリティの警告画面が表示されることがあります。



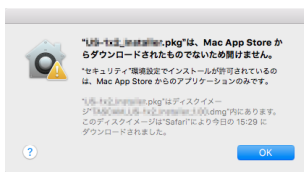
その場合には「OK」ボタンをクリックして警告画面を閉じたあと、ファイル上でcontrolキーを押しながらクリックする、またはファイル上で右クリックし、メニューから「開く」をクリックしてください。

「US-HR_Installer.pkg」は、Mac App Storeからダウンロードされたものではありません。開いてもよろしいですか?という警告画面が表示されますので、「開く」ボタンをクリックしてください。



このとき、次のGatekeeperの設定を「Mac App Storeからのアプリケーションのみを許可」以外にしている場合と同じ警告画面が表示されることがあります。

「US-HR_Installer.pkg」は、Mac App Storeからダウンロードされたものでないため開けません。」というメッセージが再度表示され、開けないことがあります。



このときは、ファイルのあるフォルダーから、デスクトップなど他のフォルダーにファイルをコピーしてから実行するか、Gatekeeperの設定を「Mac App Storeと確認済みの開発元からのアプリケーションを許可」に変更してから再度実行してください。


Gatekeeperの設定を「Mac App Storeからのアプリケーションのみを許可」以外にしている場合

「US-HR_Installer.pkg」は、アプリケーションで、インターネットからダウンロードされました。開いてもよろしいですか?というセキュリティの警告画面が表示されることがありますが、その場合には「開く」ボタンをクリックしてください。




Gatekeeperの設定を変えるには

Gatekeeperの設定は、システム環境設定の「セキュリティとプライバシー」から「一般」タブの「ダウンロードしたアプリケーションの実行許可:」項目で変更できます。

変更するには左下の  アイコンをクリックし、パスワードを入力してロックを解除する必要があります。



 ボタンもしくはcommand + Qなどでシステム環境設定を終了する、または「すべてを表示」をクリックしてこの画面から移動すると、再度ロックされます。

注意

Gatekeeperの設定を変えることで、セキュリティにリスクが生じる場合があります。

Gatekeeperの設定を変更してセキュリティを下げた(下にある項目に変更した)ときは、本ソフトウェアやファームウェアアップデートの終了後(ソフトウェアをインストール直後にファームウェアアップデートを行う場合はファームウェアアップデート後)に設定を元に戻してください。

専用ソフトウェアのアンインストール

メモ

通常は専用ソフトウェアのアンインストール作業は、必要ありません。

問題が発生した場合や本機の使用をお止めになる場合に、以下の手順をご参照ください。

Windows 専用ソフトウェアのアンインストール

1. ご使用のOS (Windows 10 / Windows 8.1 / Windows 7) に適した設定方法で「プログラムのアンインストールまたは変更」画面を開きます。
2. 一覧の中から「TASCAM US-HR バージョン x.xx」を選択し、それぞれダブルクリックします。
3. 以降は、スクリーンの指示にしたがってください。

Mac 専用ソフトウェアのアンインストール

「US-HR_Settings Panel」をアプリケーションフォルダー内から削除すれば、アンインストールは完了です。

第4章 準備

電源を接続する

パソコン (Windows / Mac) でご使用の場合

付属のUSBケーブルを使って本機をパソコンに接続して使用する場合は、USBバスパワーで動作しますので、他の電源デバイスを接続する必要はありません。

注意

US-4x4HRをUSBバスパワーで動作させるときは、市販のType-C - Type-Cケーブルで、パソコンのUSB Type-C端子に接続します。電源供給に問題がある場合はファントム電源インジケータが点滅しますので、付属の専用ACアダプター (PS-P1220E、DC12V) をご使用ください。

メモ

パソコンによっては、USBポートから本機を動作させるための必要な電源を供給することができない場合があります。その場合には、専用ACアダプターを接続してご使用ください。

iOSデバイスでご使用の場合

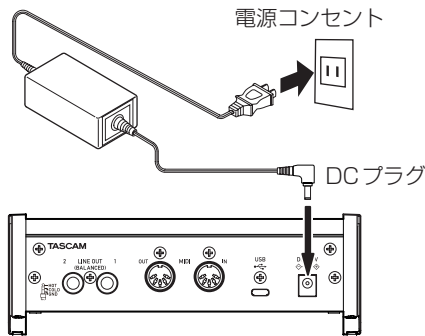
本機をiOSデバイスに接続して使用する場合は、本機に電源を供給するため、専用のACアダプターを接続する必要があります。先に専用ACアダプターを接続してから、USBケーブルを接続してください。

ACアダプターでご使用の場合

US-2x2HR

別売の専用ACアダプター (PS-P520E、DC5V) をDC IN 5V端子に接続します。

TASCAM PS-P520E (別売)



注意

US-2x2HRには、別売の専用ACアダプター (PS-P520E、DC5V) をご使用になることを強く推奨します。他の電源デバイスをご使用になる場合は、下記の仕様の電源デバイスをご使用ください。

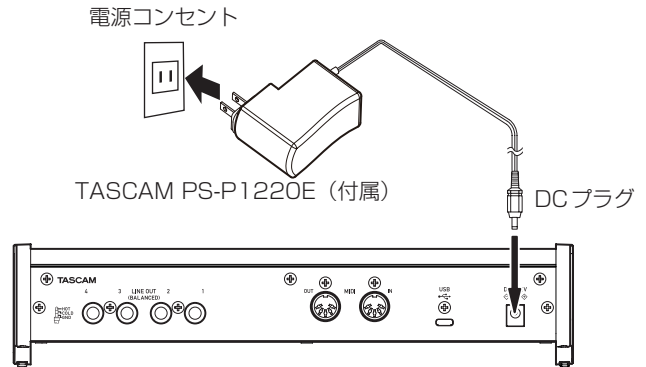
- 供給電圧：5V
- 供給電流：700mA以上

上記の仕様以外の電源デバイスを使用すると故障、発熱、発火などの原因になります。異常がある場合は、使用を中止して、販売店またはティアック修理センターに修理をご依頼ください。

US-4x4HR

付属の専用ACアダプター (PS-P1220E、DC12V) をDC IN 12V端子に接続します。

- USBバスパワーの供給電流量が十分でない場合
- iOSデバイスなど本機に電源が供給できない機器と接続する場合



注意

必ず同梱されている専用ACアダプター (PS-P1220E、DC12V) をお使いください。他のACアダプターを使用すると故障、発熱、発火などの原因になります。

メモ

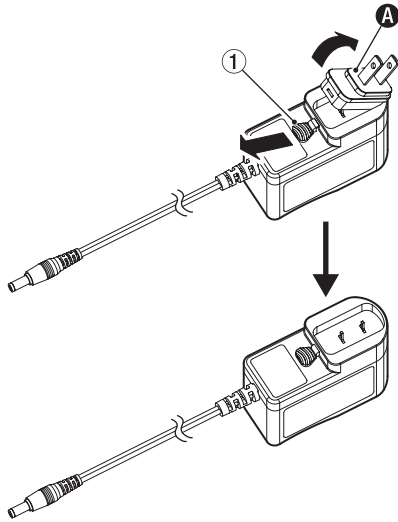
付属する専用ACアダプター (PS-P1220E、DC12V) には、2種類のコンセントプラグが同梱されています。ご使用になる電源コンセントの形状に合ったコンセントプラグに取り替えてご使用ください。(→ 11 ページ「コンセントプラグの交換方法 (US-4x4HRのみ)」)

コンセントプラグの交換方法 (US-4x4HRのみ)

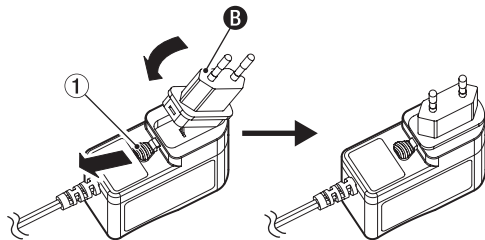
メモ

US-4x4HRをお買い上げ時、付属する専用ACアダプター (PS-P1220E、DC12V) にはコンセントプラグ (A) が取り付けられています。改めてコンセントプラグを交換する必要はありません。

1. 専用ACアダプター (PS-P1220E、DC12V) のノブ (①) を矢印方向に移動させ、コンセントプラグ (A) を引き抜きます。



2. もう一度、ノブ (①) を矢印方向に移動させ、ACアダプターに付属するコンセントプラグ (B) を差し込みます。



以上でコンセントプラグの交換は完了です。交換完了後にコンセントプラグの浮きやガタつきがないか確認し、異常がなければ電源コンセントに接続してください。

注意

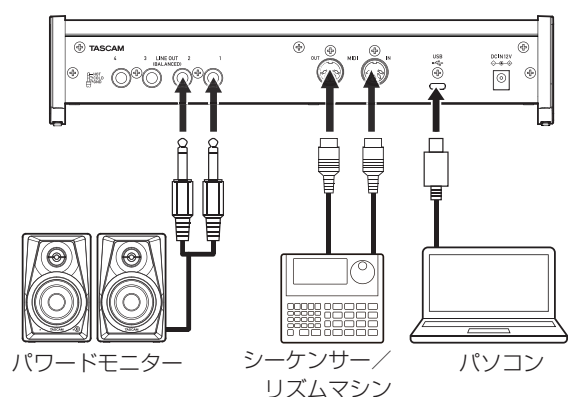
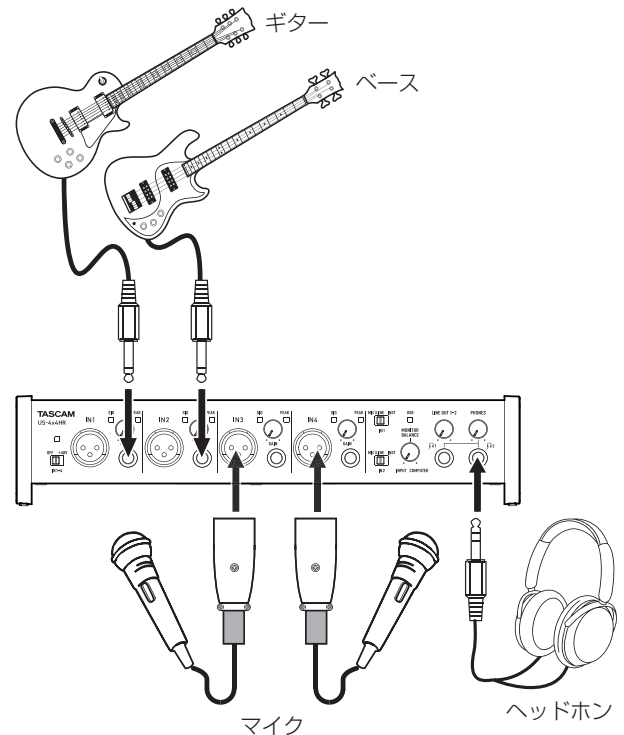
交換後のコンセントプラグに異常がある場合は、使用を中止してください。異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店またはティアック修理センター (巻末に記載) に修理をご依頼ください。

外部機器を接続する

以下に、US-4x4HRの接続例を示します。

接続前の注意

- 接続を行う前に、外部機器の取扱説明書をよくお読みになり、正しく接続してください。
- 本機および接続する機器の電源を全てオフまたはスタンバイ状態にします。
- 各機器の電源は、同一のラインから供給するように設置します。テーブルタップなどを使う場合は、電源電圧の変動が少なくなるように、電流容量が大きい太いケーブルをご使用ください。



[US-4x4HR を使った接続例]

パソコンの接続

付属のUSBケーブルを使って、本機とパソコンのUSB2.0ポートまたはUSB3.0以上のポートに接続してください。USBの接続が有効になると、フロントパネルのUSBインジケータが点灯します。

注意

- US-4x4HRをUSBバスパワーで動作させるときは、市販のType-C - Type-Cケーブルで、パソコンのUSB Type-C端子に接続します。電源供給に問題がある場合はファントム電源インジケータが点滅しますので、付属の専用ACアダプター (PS-P1220E、DC12V) をご使用ください。(→ 10 ページ「ACアダプターでご使用の場合」)
- USBハブなどで本機を接続した場合、バスパワー不足やそのUSBバス上のUSB機器の影響でオーディオ信号のドロップアウト、クリックノイズなどが発生することがあります。そのため本機の接続は、別のUSBポートに接続することを強くお勧めします。ただし、USBキーボードとUSBマウスは接続しても問題ありません。

iOSデバイスとの接続

Lightning端子を持ったiOSデバイスの場合は、Lightning - USB カメラアダプタ* と付属のUSBケーブルを使って接続してください。

Type-C端子を持ったiOSデバイスの場合は、市販のType-C - Type-Cケーブルを使って接続してください。

* Apple純正Lightning - USB カメラアダプタを別途、ご用意ください。

メモ

- 本機と接続時、本機からiOSデバイスへの電源供給は行われません。
- 本体の設定を変更する場合は、あらかじめWindowsパソコンまたはMacにインストールされたSettings Panel(アプリケーション)で行ってから接続してください。

オーディオの接続

マイク、ギター、キーボード、オーディオ機器など、本機に入力されたアナログ音声信号は、デジタル信号に変換されたあとにUSBを経由してパソコンに送られます。また、スピーカー(アンプ経由)やヘッドホンを本機に接続することにより、本機に入力されるオーディオ信号やパソコンからの出力信号をモニターすることができます。

注意

オーディオ機器を接続する場合には、GAINつまみ、LINE OUTつまみ、およびPHONESつまみを下げた状態で行ってください。モニター機器から突然大きな音が出て、機器の破損や聴覚障害の原因になる可能性があります。

マイクを接続する

ダイナミックマイク

フロントパネルのIN1 / IN2 端子およびIN3 / IN4 端子 (US-4x4HRのみ) に接続します。

コンデンサーマイク

ファントム電源を必要とするコンデンサーマイクをご使用になる場合は、IN1 / IN2 端子およびIN3 / IN4 端子 (US-4x4HRのみ) に接続し、ファントム電源スイッチを「+48V」に設定してください。

ファントム電源スイッチが「+48V」に設定されているときは、フロントパネルのファントム電源インジケータが点灯します。

注意

LINE OUTつまみとPHONESつまみを下げた状態でファントム電源スイッチの+48V / OFFの切り換えを行ってください。マイクによっては大きなノイズを発生し、モニター機器から突然大きな音が出て、機器の破損や聴覚障害の原因になる可能性があります。

注意

- コンデンサーマイクを接続する前に、本機および接続する機器の電源を全てオフまたはスタンバイ状態にしてください。
- ファントム電源スイッチは、入力チャンネル (US-2x2HRは2入力、US-4x4HRは4入力) を同時にオン/オフします。ファントム電源を必要としないマイクを接続している場合は、ファントム電源スイッチを「+48V」にしないでください。
- ファントム電源スイッチを「+48V」にした状態で、マイクの抜き差しをしないでください。大きなノイズを発生し、本機および接続中の機器が故障する恐れがあります。
- ファントム電源を必要とするコンデンサーマイクを使用する場合のみ、ファントム電源スイッチを「+48V」にしてください。ファントム電源を必要としないダイナミックマイクなどを接続しているときにファントム電源スイッチを「+48V」にすると、本機および接続中の機器が故障する恐れがあります。
- ファントム電源を必要とするコンデンサーマイクとダイナミックマイクを合わせて使用する場合は、必ずバランスタイプのダイナミックマイクをご利用ください。アンバランスタイプのダイナミックマイクを混用することはできません。
- リボンマイクの中には、ファントム電源を供給すると故障の原因になるものがあります。疑わしい場合は、リボンマイクにファントム電源を供給しないでください。
- バッテリー電源で駆動中のノートパソコンに本機を接続して、ファントム電源スイッチを「+48V」にすると、そのパソコンのバッテリー電源の消費が早くなります。

ギターを接続する

ギターやベースを直接本機に接続する場合は、フロントパネルのIN1 / IN2 端子に接続し、その端子のMIC/LINE INSTスイッチを「INST」に設定します。

電子楽器 / オーディオ機器などを接続する

電子楽器やオーディオ機器などを接続する場合は、フロントパネルのIN1 / IN2 端子に接続し、その端子のMIC/LINE INSTスイッチを「MIC/LINE」に設定します。

アナログレコードプレーヤーを接続する

アナログレコードプレーヤーの出力は、直接本機に接続することができません。アナログレコードプレーヤーを本機に接続するには、アナログレコードプレーヤーと本機の間にはフォノイコライザーアンプが必要です（あるいはフォノ入力端子を持つオーディオアンプを介して接続します）。

モニタースピーカーを接続する

モニタースピーカー（パワードモニタースピーカーまたはアンプ／スピーカーシステム）は、リアパネルのLINE OUT（BALANCED）1-2端子に接続します。スピーカーの音量は、フロントパネルのLINE OUTつまみで調整可能です。

ヘッドホン接続する

ヘッドホンは、フロントパネルのPHONES端子（ステレオ標準ジャック）に接続します。

△ 注意

ヘッドホンを接続する前には、PHONESつまみで音量を最小にしてください。突然大きな音が出て、聴覚障害などの原因となることがあります。

メモ

US-4x4HRの Ω_1 端子および Ω_2 端子からは、同じ信号が出力されます。

MIDIの接続

音源モジュール、キーボード／シンセサイザー、ドラムマシンなどのMIDI機器と本機を、以下のように接続します。

- MIDI機器の音をモニターしたい場合は、これらの出力を本機フロントパネルのIN1 / IN2端子およびIN3 / IN4端子（US-4x4HRのみ）に入力するか、外部ミキサーを使ってモニターしてください。
- リアパネルのMIDI IN / OUT端子を使って、MTC（MIDIタイムコード）の送受信を行うことができます。これにより、MTC対応アプリケーションソフトでMTR（マルチトラックレコーダー）とMIDI機器を同期することができます。

注意

- USBインジケータは、接続されたパソコンがシャットダウン後も点灯し続ける場合があります。これは、パソコンによってはシャットダウン後もUSBケーブルを通じて電力を供給し続けるためです。
- オーディオアプリケーション使用時、コントロールパネル内の「サウンドとオーディオデバイス」からMIDI音楽の再生出力先（既定のデバイス）を「Microsoft GS Wavetable SW Synth」に設定した場合は、本機のLINE OUT（BALANCED）1-2端子、LINE OUT（BALANCED）3-4端子（US-4x4HRのみ）およびPHONES端子からはMIDI演奏を聴くことができません。

ダイレクトモニター機能を使う

Settings Panelの「LINE OUT 1-2」または「LINE OUT 3-4」の設定が「Monitor Mix」のとき、MONITOR BALANCEつまみが有効になり、遅延がない入力モニター（ダイレクトモニター）が可能になります。

MONITOR BALANCEつまみを使って、入力端子からの入力信号と、パソコンからの出力信号のモニターバランスを調節します。

メモ

- この設定は、モニターバランスを調節するための設定ですので、録音レベルには影響しません。
- この場合、DAWなどの録音ソフトウェアがその入力を出力（モニターオンなど）に設定していないことを確認してください。入力信号にパソコンからの出力信号が加わり、重なって聴こえる現象が発生することがあります。

第5章 Settings Panelの設定

Settings Panelを開く

Settings Panelを使って、本機の各種機能の設定を行うことができます。

Settings Panelを開くには、次の方法があります。

メモ

- Windows や Mac のSettings Panelで設定した設定値で、本体が動作します。
- iPadなどのiOSデバイスでは、Settings Panelを使用することはできません。
- 本体の設定を変更する場合は、WindowsパソコンまたはMacにインストールされたSettings Panel (アプリケーション)で行ってください。

Windows

- 「スタートメニュー」の「TASCAM」から「US_HR Settings Panel」を選択します。

Mac

- 「Launchpad」から「US_HR_SettingsPanel」をクリックする。
- 「Finder」→「アプリケーション」→「US_HR_SettingsPanel」をクリックして、Settings Panelを開く。

Settings Panelについて



[Windows用 Settings Panel]



[Mac用 Settings Panel]

① IN 1-2 / IN 3-4 ボタン

IN1 / IN2 端子およびIN3 / IN4 端子 (US-4x4HRのみ) からのモニター信号を「Mono」または「Stereo」に設定します。選択した **Mono** / **Stereo** のボタンが点灯します。

ボタン	内容
Mono	Monitor Mix に設定したチャンネルから出力される信号が、「モノラル」になります。パソコンに送られる信号は、Loopbackの設定に依存します。
Stereo	Monitor Mix に設定したチャンネルから出力される信号が、「ステレオ」になります。パソコンに送られる信号は、Loopbackの設定に依存します。

② Audio Input ONスイッチ

入力のオン/オフをチャンネルごとに設定します。

オンのとき スイッチが点灯し、そのチャンネルに入力された信号を通します。

③ LINE OUT 1-2

LINE OUT (BALANCED) 1-2 端子およびPHONES端子 (US-4x4HRの ϕ 1 端子および ϕ 2 端子) から出力する信号を選択します。

選択肢	内容
Monitor Mix	Audio Input ONスイッチで設定した入力チャンネルの信号とUSB経由でパソコンから出力される信号にMONITOR BALANCEつまみで調整したミックス信号を出力します。
Computer Out 1-2	USB経由でパソコンから送られてくる再生信号「Computer Out 1-2」を出力します。
Computer Out 3-4 (US-4x4HRのみ)	USB経由でパソコンから送られてくる再生信号「Computer Out 3-4」を出力します。

メモ

- 「Monitor mix」を選択すると、本機フロントパネルのMONITOR BALANCEつまみが有効になり、遅延がない入力モニター (ダイレクトモニター) が可能になります。(→ 13 ページ「ダイレクトモニター機能を使う」)
- MONITOR BALANCEつまみを左側 (INPUT) へ最大に回すと入力チャンネルの信号のみとなり、右側 (COMPUTER) へ最大に回すとパソコンからの信号のみとなります。それ以外では、両方の信号がミックスした信号になります。

④ LINE OUT 3-4 (US-4x4HRのみ)

LINE OUT (BALANCED) 3-4 端子から出力する信号を選択します。

選択肢	内容
Monitor Mix	Audio Input ONスイッチで設定した入力チャンネルの信号とUSB経由でパソコンから出力される信号にMONITOR BALANCEつまみで調整したミックス信号を出力します。
Computer Out 1-2	USB経由でパソコンから送られてくる再生信号「Computer Out 1-2」を出力します。
Computer Out 3-4 (US-4x4HRのみ)	USB経由でパソコンから送られてくる再生信号「Computer Out 3-4」を出力します。

メモ

- 「Monitor mix」を選択すると、本機フロントパネルのMONITOR BALANCEつまみが有効になり、遅延がない入力モニター（ダイレクトモニター）が可能になります。（→13ページ「ダイレクトモニター機能を使う」）
- MONITOR BALANCEつまみを左側（INPUT）へ最大に回すと入力チャンネルの信号のみとなり、右側（COMPUTER）へ最大に回すとパソコンからの信号のみとなります。それ以外では、両方の信号がミックスした信号になります。

⑤ Buffer Size項目 (Windowsのみ)

パソコンとやりとりするオーディオ入出力信号のバッファサイズを調整します。

バッファサイズが小さいほど、オーディオ信号の遅れが少なくなりますが、パソコンの高速処理が要求されます。

他のシステム操作を行った場合など処理が間に合わないと、オーディオ信号にクリックノイズ、ポップノイズ、ドロップアウトなどが発生する場合があります。

バッファサイズを大きくするほど動作がより安定し、オーディオ信号への悪影響に対して強くなりますが、パソコンとやりとりするオーディオ信号の遅れが大きくなります。

本機ではユーザー環境に合わせて、バッファサイズを調節することができます。

選択肢

- 4 Samples、8 Samples、16 Samples、
24 Samples、32 Samples、64 Samples、
128 Samples、256 Samples（初期値）、512 Samples、
1024 Samples、2048 Samples

⑥ インフォメーション表示部

現在のステータス（状態）を表示しています。

表示項目	表示内容
Sample Rate	サンプリング周波数を表示します。
Device	接続中の本機の装置名を表示。 (未接続時は、「No Device」と表示されます)

⑦ Loopback

ループバック機能のオン/オフ設定します。オフのときは、Input / Output / BROADCAST Volumeの設定は反映されません。

選択肢：OFF（初期値）、ON

注意

「ステレオ」でLoopbackしても片側のチャンネルしか入力されない（ステレオ入力に対応していない）アプリケーションをお使いの場合は、「モノラル」でLoopbackする必要があります。その場合は、InputおよびOutputの設定を共に「Mono」を選択してください。

⑧ Input

IN1 / IN2 端子からの入力信号をループバック入力信号としてモノラル化するかステレオのままかを設定します。

選択肢：Mono、Stereo（初期値）

⑨ Output

USB出力をループバックする際に、モノラル化するかステレオのままかを設定します。

選択肢：Mono、Stereo（初期値）

⑩ BROADCAST Volumeスライダー

Sound Recorderやカラオケアプリで録音する音量を調節します。また、生放送アプリでは、配信する音量を調節します。

メモ

BROADCAST Volumeを調整する場合は、MONITOR BALANCEつまみを右側（COMPUTER）いっぱいにして行ってください。

⑪ Auto Power Save スイッチ

オートパワーセーブ機能を有効にするときは、オンにしてください。

スタンダアローンモード動作時に、本機に入力信号が検出されない状態（-60dBFS以下の状態）が30分間経過した場合に、自動的に電源をオフ（スタンバイ状態）にするかを設定します。

最新情報のお知らせ機能

お使いのパソコンがインターネットに接続されていると、Settings Panel起動時のお知らせが表示されることがあります。

メモ

「同じメッセージを再度表示しない」チェックボックスをチェックすることで、次回から起動時に同じメッセージを表示しないようにできます。

ソフトウェアバージョンおよびファームウェアバージョンの確認方法

メニューバーの「Help」→「About」を選択すると、以下の画面が表示されます。

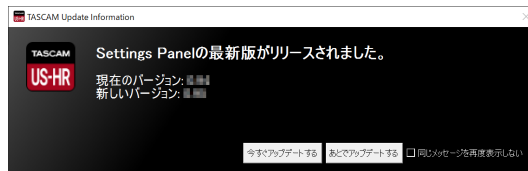
ソフトウェアバージョンおよびファームウェアバージョンを確認することができます。



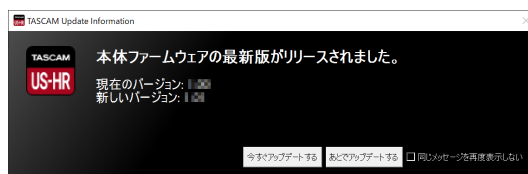
表示項目	表示内容
Firmware Ver.	接続中の本機のファームウェアバージョンを表示。
Software Ver.	ソフトウェアのバージョンを表示。

ソフトウェア・ファームウェアの自動更新機能

新しいバージョンのソフトウェアおよびファームウェアがリリースされた場合、お使いのパソコンがインターネットに接続されていると、ソフトウェア起動時に自動更新案内が表示されます。



[ソフトウェアの更新の場合]



[ファームウェアの更新の場合]

最新のソフトウェア／ファームウェアをご使用になる場合、「今すぐアップデートする」ボタンをクリックしてください。

ファイルが自動的にダウンロードされ、更新ソフトが起動します。更新したくない場合、あとで更新したい場合は、「あとでアップデートする」ボタンをクリックして更新ウィンドウを閉じてください。

メモ

- 「同じメッセージを再度表示しない」チェックボックスをチェックすることで、次回から起動時に同じウィンドウを表示しないようにできます。
- 更新ウィンドウを閉じたあとでも、メニューバーの「Help」→「Update」を選択することで再び更新ウィンドウを表示させることができます。

ここでは、いくつかのオーディオアプリケーションと組み合わせて使用する場合の各設定方法を紹介します。

DAWソフトウェア

バンドルDAWソフトウェア

バンドルしているDAWソフトウェアのダウンロードやインストール、および各種の設定方法に関しては、TASCAMのウェブサイト (<https://tascam.jp/jp/>) から、それぞれのクイックスタートガイドをダウンロードして、ご覧ください。

その他のDAWソフトウェア

その他のDAWソフトウェアをご使用の場合は、お手持ちのDAWソフトウェアの取扱説明書をご参照ください。ASIO対応のDAWでは、デバイスとして「US-HR Series ASIO」を選択してください。

Windows

1. ご使用のOS (Windows 10 / Windows 8.1 / Windows 7) に適した設定方法で「サウンド」画面を開きます。
2. 「再生」タブ画面の「スピーカー US-2x2 HR」または「スピーカー US-4x4 HR」を右クリックし、表示されたポップアップメニュー内の「既定のデバイスとして設定」をクリックします。このとき、緑のチェックマーク (✓) が選択したデバイスに移動します。

メモ

本機を録音デバイスとして使う場合には、「再生」タブ画面と同様に「録音」タブ画面もご使用になるデバイスに応じて既定のデバイスを設定してください。

3. 設定が終了したら、「OK」ボタンをクリックします。
4. オーディオアプリケーションを起動し、オーディオファイルの再生を行ってください。

メモ

- オーディオアプリケーションを起動した状態で設定を行った場合は、オーディオアプリケーション側でデバイスの切り換えが認識されません。この場合、オーディオアプリケーションを再起動してください。
- 上記設定／操作を正しく行っても音が出ない場合は、USBケーブルを抜いてパソコンを再起動してください。
- この設定を行うと本機経由で音は出ますが、パソコンのスピーカーやヘッドホン端子からは音が出なくなります。

macOS

1. 「アプリケーション」フォルダー内の「ユーティリティ」フォルダー内にある「Audio MIDI 設定」をダブルクリックし、「オーディオ装置」画面を開きます。
2. 「US-2x2 HR」または「US-4x4 HR」をクリックして選択し、右クリックまたはcontrolキーを押しながら「US-2x2 HR」または「US-4x4 HR」をクリックして表示されるポップアップメニュー内の「このサウンド出力装置を使用」をクリックします。スピーカーのマークが「US-2x2 HR」または「US-4x4 HR」に移動します。

メモ

本機を録音デバイスとして使う場合には、「US-2x2 HR」または「US-4x4 HR」を「このサウンド入力装置を使用」に設定します。

3. オーディオアプリケーションを起動し、オーディオファイルを選択して再生を行ってください。

メモ

- オーディオアプリケーションで再生中は、サンプリング周波数を変更しないでください。
- サンプリング周波数を変更する必要がない場合は、「システム環境設定」にある「サウンド」からも入力装置／出力装置の設定を行うことができます。

iOS

iOSデバイスは、特に設定をする必要はありません。USB接続を接続したあとは、すぐに使用できます。

メモ

- iOSデバイスのヘッドホン端子にヘッドホンなどを接続した場合は、本機とのUSB通信が切断されます。
- 本体の工場出荷時の設定、もしくはWindows / Macで設定を変更している場合は、その設定で動作します。

本体の工場出荷時の設定

- Direct Monitor Settings : Mono
- Audio Input : ON
- LINE OUT 1-2 : Monitor Mix
- LINE OUT 3-4 : Computer Out 3-4 (US-4x4HRのみ)
- Loopback : OFF
- Auto Power Save : ON

第7章 スタンドアローンモード

概要

- 本機の電源が入っていて、USBケーブルがパソコンまたはiOSデバイスとつながっていないとき、本機はスタンドアローンモードと呼ばれるモードで動作します。
- 本機をマイク用プリアンプとして動作させ、入力音をモニタリングすることが可能です。録音をせずに、楽器の練習をするときなどに便利な機能です。
- 外付けの電源デバイスが必要です。詳しくは、10ページ「電源を接続する」をご参照ください。

スタンドアローンモード動作時の各設定

スタンドアローンモード動作時は、入力信号が固定値に設定された内蔵デジタルミキサーおよび出力セレクターを通して、出力端子に出力されます。また、スタンドアローンモード動作時は、USBインジケータが点滅状態になります。

Settings Panelの設定

Settings Panelの以下の設定は、現在の設定状態（最後に設定されていた状態）を保持します。

- Direct Monitor Settings IN 1-2
- Direct Monitor Settings IN 3-4 (US-4x4HRのみ)
- Auto Power Save

また、LINE OUT 1-2 およびLINE OUT 3-4 (US-4x4HRのみ) は、「Monitor Mix」の固定となります。

第8章 MIDI インプリメンテーションチャート

MIDI インプリメンテーションチャート

機能		送信	受信	備考
ベーシック・チャンネル	電源オン時	×	×	スルー
	設定可能	×	×	
モード	電源オン時	×	×	スルー
	メッセージ	×	×	
	代用		
ノート・ナンバー	音域	×	×	スルー
ベロシティ	ノート・オン	×	×	スルー
	ノート・オフ	×	×	
アフター・タッチ	キー別	×	×	スルー
	チャンネル別	×	×	
ピッチ・ベント		×	×	スルー
コントロール・チェンジ		×	×	スルー
プログラム・チェンジ		×	×	スルー
	設定可能範囲 #		
システム・エクスクルーシブ		×	×	スルー
システム・コモン	ソング・ポジション	×	×	スルー
	ソング・ポジション	×	×	
	チューン	×	×	
システム・リアルタイム	クロック	×	×	スルー
	コマンド	×	×	
その他	ローカル・オン/オフ	×	×	スルー
	オール・ノート・オフ	×	×	
	アクティブ・センス	×	×	
	リセット	×	×	
備考				

モード1：オムニ・オン、ポリ モード2：オムニ・オン、モノ ○：YES
 モード3：オムニ・オフ、ポリ モード4：オムニ・オフ、モノ ×：NO

第9章 トラブルシューティング

本取扱説明書の手順通り設定しても本機が正常に使用できない場合は、まずは本章をご確認ください。

本章で解決できない場合は、タスクカスタマーサポート（巻末に記載）まで、下記のご使用環境と詳しい状況をお知らせいただきますようお願い致します。

ご使用環境

- パソコンメーカー
- モデル
- CPU
- 搭載メモリー
- OS
- 使用アプリケーション
- ウイルス対策ソフト
- 無線LANの有無

それでも改善しないときは、お買い上げの販売店またはティアック修理センターにご連絡ください。

お問い合わせ先につきましては、巻末をご参照ください。

専用ソフトウェアをインストールできない

1. OSの確認
お使いのOSとインストールしようとしているソフトウェアの対応OSが異なっている可能性があります。
対応OSを今一度ご確認ください。
2. 常駐ソフトの停止
アンチウイルスソフトなどの常駐ソフトがインストールの妨げとなる場合があります。
常駐ソフトを終了し、再度インストールをお試しください。

本機を接続したがパソコンに認識されない

1. 専用ソフトウェアのインストール
 - 専用ソフトウェアをインストールしてください。詳しくは、7ページ「専用ソフトウェアをインストールする」をご覧ください。
2. USBポートの差し替え
 - 本機は、USB1.1では動作しません。USB2.0またはUSB3.0以上のポートをご使用ください。
 - 本機の接続は、USBハブはご使用にならずに、必ずパソコン本体のUSBポートに接続してください。
 - 上記の方法で解決しない場合、パソコン本体の別のUSBポートに接続してください。

パソコンで再生しても音が出ない

本機のMONITOR BALANCEつまみが、左側（INPUT）最大に回っていないかを確認してください。その場合、MONITOR BALANCEつまみを中央より右側に回してください。

また、本機をパソコンに接続した状態で下記をご確認ください。なお、以下の設定を行うと本機経由で音は出ますが、パソコンのスピーカーやヘッドホン端子から音は出なくなります。

Windows の場合

本書17ページ「第6章 アプリケーションガイド」の「Windows」を参照して各OSに合わせた設定を行ってください。

Macの場合

1. 全てのアプリケーションを終了し、アップルメニューより「システム環境設定...」画面を開きます。
2. 「サウンド」を開きます。
3. 「出力」タブから「US-2x2 HR」または「US-4x4 HR」を選択します。

設定が完了しましたらパソコンを再起動し、再生音をご確認ください。また、お使いのアプリケーションによっては、上記とは別にデバイス設定を行う必要がある場合があります。

特にDAWソフトウェアをご使用時には、上記OSの設定とは別のオーディオエンジンで動作していますので、本機のドライバーおよびSettings Panelソフトウェアをインストール後、先にDAWソフトウェアの設定をご確認ください。

お使いのアプリケーションの詳しい設定方法については、各取扱説明書をご参照ください。

モニタリング時に入力音の遅延が大きい

ダイレクトモニター機能をご使用ください。（→ 13ページ「ダイレクトモニター機能を使う」）

入力音が二重に聴こえる

DAWなどの録音ソフトウェアがその入力を出力（モニターオンなど）に設定していないことを確認してください。

入力端子からの入力信号が、ダイレクトモニターだけでなくパソコンからの出力信号としてモニターされることにより二重に聴こえることがあります。

音切れやノイズが発生する

パソコンの負荷が原因で音切れやノイズが発生します。パソコンの負荷を軽減させる方法を下記にご紹介致します。

1. 無線LANやアンチウイルスソフトなどの常駐ソフトがバックグラウンドで動作している場合は、定期的な負荷がかかり、音切れやノイズの原因となります。
その場合は無線LANの通信を停止する、またはアンチウイルスソフトなどの常駐ソフトを停止後して、お試しください。
2. お使いのオーディオアプリケーション、あるいは本機の Settings Panelにてバッファサイズ (レイテンシー) の設定を大きくすることをお試しください。(Windowsのみ)

メモ

オーディオアプリケーション側でパソコンへの負荷を減らす方法については、オーディオアプリケーションのメーカー様にお問い合わせください。

3. パソコンをオーディオ処理に適した設定に変更してください。

[Windows の場合]

- パフォーマンスオプション
 - ① ご使用のOS(Windows 10 / Windows 8.1 / Windows 7)に適した設定方法で「システム」を開きます。
 - Windows 10 は、「コントロールパネル」を開きます。さらに「システム」アイコンをクリックします。
 - Windows 8.1 は、通常のスタート画面 (メトロUI画面) で右クリックし、「すべてのアプリ」をクリックします。さらに「コンピュータ」を右クリックし、「プロパティ」を選択します。
 - Windows 7 は、Windows のスタートボタンから「コンピュータ」を右クリックし、「プロパティ」を選択します。
 - ② 「システムの詳細設定」をクリックします。
 - ③ 「システムのプロパティ」画面の「詳細設定」タブで、「パフォーマンス」枠の「設定...」をクリックします。
 - ④ 「パフォーマンスオプション」画面の「視覚効果」タブで、「パフォーマンスを優先する」を選択します。
- 電源オプション
 - ① ご使用のOS(Windows 10 / Windows 8.1 / Windows 7)に適した設定方法で「コントロールパネル」を開きます。
 - ② 「ハードウェアとサウンド」をクリックします。
 - ③ 「電源オプション」をクリックします。
 - ④ 「電源プランの選択」で「高パフォーマンス」を選択します。

メモ

項目が表示されていない場合は、「追加のプランを表示」の下向きの三角ボタンを選択して表示します。もしくは、「電源プランの作成」をクリックしてください。

[Mac の場合]

- ① アップルメニューより「システム環境設定...」画面を開き、「省エネルギー」を選択します。
- ② 「コンピュータのスリープ」を「しない」に設定します。
- ③ 「ディスプレイのスリープ」を「しない」に設定します。

メモ

macOSのバージョン、または Mac によっては、この設定がない場合があります。

4. USBポートを差し替えてください。
USBポートによっては本機が正常に動作しない場合がありますので、パソコン本体の別のUSBポートに接続してください。

メモ

- その他のUSB機器は、接続せずにお試しください (USBキーボード・USBマウスは、接続しても構いません)。
- USBハブはご使用にならず、必ずパソコン本体の (オンボードの) USBポートに接続してください。

USBオーディオインターフェースを使用していたら、動作が不安定になるときがある

Windows を使用している場合において、電源管理設定により動作が不安定になる場合がございます。その場合は、以下をお試しください。

1. ご使用のOS(Windows 10 / Windows 8.1 / Windows 7)に適した設定方法で「コントロールパネル」を開きます。
2. 「ハードウェアとサウンド」をクリックします。
3. 「電源オプション」をクリックします。
4. 「電源プランの選択」で「高パフォーマンス」を選択します。

メモ

項目が表示されていない場合は、「追加のプランを表示」の下向きの三角ボタンを選択して表示します。もしくは、「電源プランの作成」をクリックしてください。

バンドルDAWソフトウェアなどのお問い合わせについて

バンドルDAWソフトウェアにつきましては、弊社ではサポート外となります。

ご使用については、バンドルDAWソフトウェアのヘルプメニューをご参照いただけますようお願い致します。

第 10 章 仕様

定格

サンプリング周波数

44.1k/48k/88.2k/96k/176.4k/192kHz

量子化ビット数

24ビット

入出力定格

アナログオーディオ入力定格

マイク入力 (バランス)

US-2x2HR : IN1 / IN2

US-4x4HR : IN1 / IN2、IN3 / IN4

コネクタ: XLR-3-31 相当

(1 : GND、2 : HOT、3 : COLD)

最大入力レベル: +9dBu (2.183Vrms)

規定入力レベル: -7dBu (0.346Vrms)

ゲイン幅: 56dB

入力インピーダンス: 2.2kΩ

インストゥルメント入力 (アンバランス)

US-2x2HR : IN1 / IN2

US-4x4HR : IN1 / IN2

(MIC/LINE INSTスイッチを「INST」に設定時)

コネクタ: 6.3mm (1/4") TS標準ジャック

(Tip : HOT、Sleeve : GND)

最大入力レベル: +10dBV (3.162Vrms)

規定入力レベル: -6dBV (0.501Vrms)

ゲイン幅: 56dB

入力インピーダンス: 1MΩ以上

ライン入力 (バランス)

US-2x2HR : IN1 / IN2

US-4x4HR : IN1 / IN2、IN3 / IN4

(MIC/LINE INSTスイッチを「MIC/LINE」に設定時)

コネクタ: 6.3mm (1/4") TRS標準ジャック

(Tip : HOT、Ring : COLD、Sleeve : GND)

最大入力レベル: +20dBu (7.746Vrms)

規定入力レベル: +4dBu (1.228Vrms)

ゲイン幅: 56dB

入力インピーダンス: 10kΩ

アナログオーディオ出力定格

ライン出力 (バランス)

US-2x2HR : LINE OUT (BALANCED) 1-2

US-4x4HR : LINE OUT (BALANCED) 1-2

LINE OUT (BALANCED) 3-4

コネクタ: 6.3mm (1/4") TRS標準ジャック

(Tip : HOT、Ring : COLD、Sleeve : GND)

最大出力レベル: +20dBu (7.746Vrms)

規定出力レベル: +4dBu (1.228Vrms)

出力インピーダンス: 210Ω

ヘッドホン出力 (PHONES)

コネクタ: 6.3mm (1/4") ステレオ標準ジャック

最大出力:

US-2x2HR : 18mW + 18mW以上

US-4x4HR : 45mW + 45mW以上

(THD+N 0.1%以下、32Ω負荷時)

コントロール入出力定格

MIDI IN 端子

コネクタ: Din 5ピン

フォーマット: 標準MIDIフォーマット

MIDI OUT 端子

コネクタ: Din 5ピン

フォーマット: 標準MIDIフォーマット

USB端子

コネクタ: USB Type-C

転送速度: USB 2.0 High Speed (480Mbps)

オーディオ性能

マイクアンプEIN (入力換算雑音)

-128dBu以下

周波数特性

MIC/LINE IN

44.1k/48kHz時 20Hz - 20kHz :

+0dB/-0.4dB (JEITA)

88.2k/96kHz時 20Hz - 40kHz :

+0dB/-0.4dB (JEITA)

LINE OUT

44.1k/48kHz時 20Hz - 20kHz :

+0.2dB/-0.1dB (JEITA)

88.2k/96kHz時 20Hz - 40kHz :

+0.2dB/-0.4dB (JEITA)

S/N比

110dB

(MIC IN、GAINつまみ最小、20kHz SPCL LPF

+A-Weight)

108dB

(LINE IN、GAINつまみ最小、20kHz SPCL LPF

+A-Weight)

110dB

(LINE OUT、LINE OUTつまみ最大、20kHz SPCL LPF

+A-Weight)

全高調波歪率 (THD+N)

0.0013%

(MIC IN、1kHzサイン波、-5dBFS入力、GAINつまみ最小、

20kHz SPCL LPF)

0.0011%

(LINE IN、1kHzサイン波、-5dBFS入力、GAINつまみ

最小、20kHz SPCL LPF)

0.0012%

(LINE OUT、1kHzサイン波、-4dBFS入力、LINE OUT

つまみ最大、20kHz SPCL LPF)

クロストーク

95dB以上

(MIC/LINE → LINE OUT、1kHzサイン波、GAINつまみ最小)

動作条件

最新の対応OS状況については、TASCAMのウェブサイト (<https://tascam.jp/jp/>) ご確認ください。

Windows

対応OS

Windows 10 32ビット
Windows 10 64ビット
Windows 8.1 32ビット
Windows 8.1 64ビット
Windows 7*

Windows 7 32ビット SP1 以上
Windows 7 64ビット SP1 以上

* Windows 7 は、最終バージョンでの動作を確認しています。

対応パソコン

USB2.0以上を装備した Windows 対応パソコン

CPU / クロック

デュアルコアプロセッサ 2GHz以上 (x86)

メモリー

2GB以上

注意

本機の動作確認は、上記のシステム条件を満たす標準的なパソコンを使って行われていますが、上記条件を満たすパソコン全ての場合の動作を保証するものではありません。同一条件下であっても、パソコン固有の設計仕様や使用環境の違いにより処理能力が異なります。

Mac

対応OS

macOS Catalina (10.15 以降)
macOS Mojave (10.14 以降)
macOS High Sierra (10.13 以降)

対応パソコン

USB2.0以上を装備した Mac

CPU / クロック

デュアルコアプロセッサ 2GHz以上

メモリー

2GB以上

iOS デバイス

アップル製iOSデバイスの下記Verにて動作を確認しています。

iPadOS 13
iOS 13
iOS 12
iOS 11

注意

Lightning コネクタを搭載したiOSデバイスを接続する際には、Apple純正Lightning-USB カメラアダプタ (別売) が必要となります。

対応オーディオドライバー

Windows

ASIO2.0、WDM、MIDI

Mac

Core Audio、Core MIDI

iOS デバイス

Core Audio

一般

電源

パソコン接続時

USBバスパワー、もしくは下記専用ACアダプターを接続

iOS デバイス 接続時

下記の専用ACアダプターを接続

US-2x2HR : TASCAM PS-P520E、DC5V

US-4x4HR : TASCAM PS-P1220E、DC12V

消費電力

US-2x2HR : 1.75W

US-4x4HR : 2.25W

外形寸法

US-2x2HR : 186 x 65 x 160mm

(幅 x 高さ x 奥行き、突起部を含む)

US-4x4HR : 296 x 65 x 160mm

(幅 x 高さ x 奥行き、突起部を含む)

質量

US-2x2HR : 1.1kg

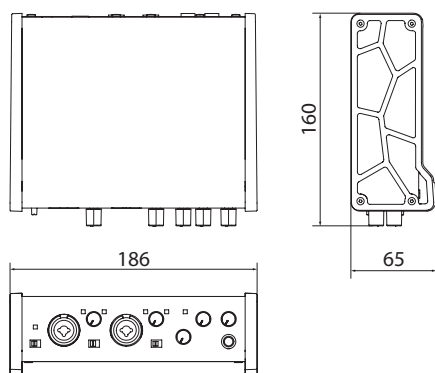
US-4x4HR : 1.6kg

動作温度

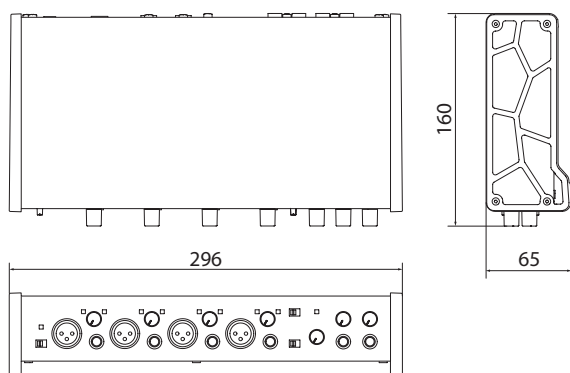
5 ~ 35°C

寸法図

US-2x2HR

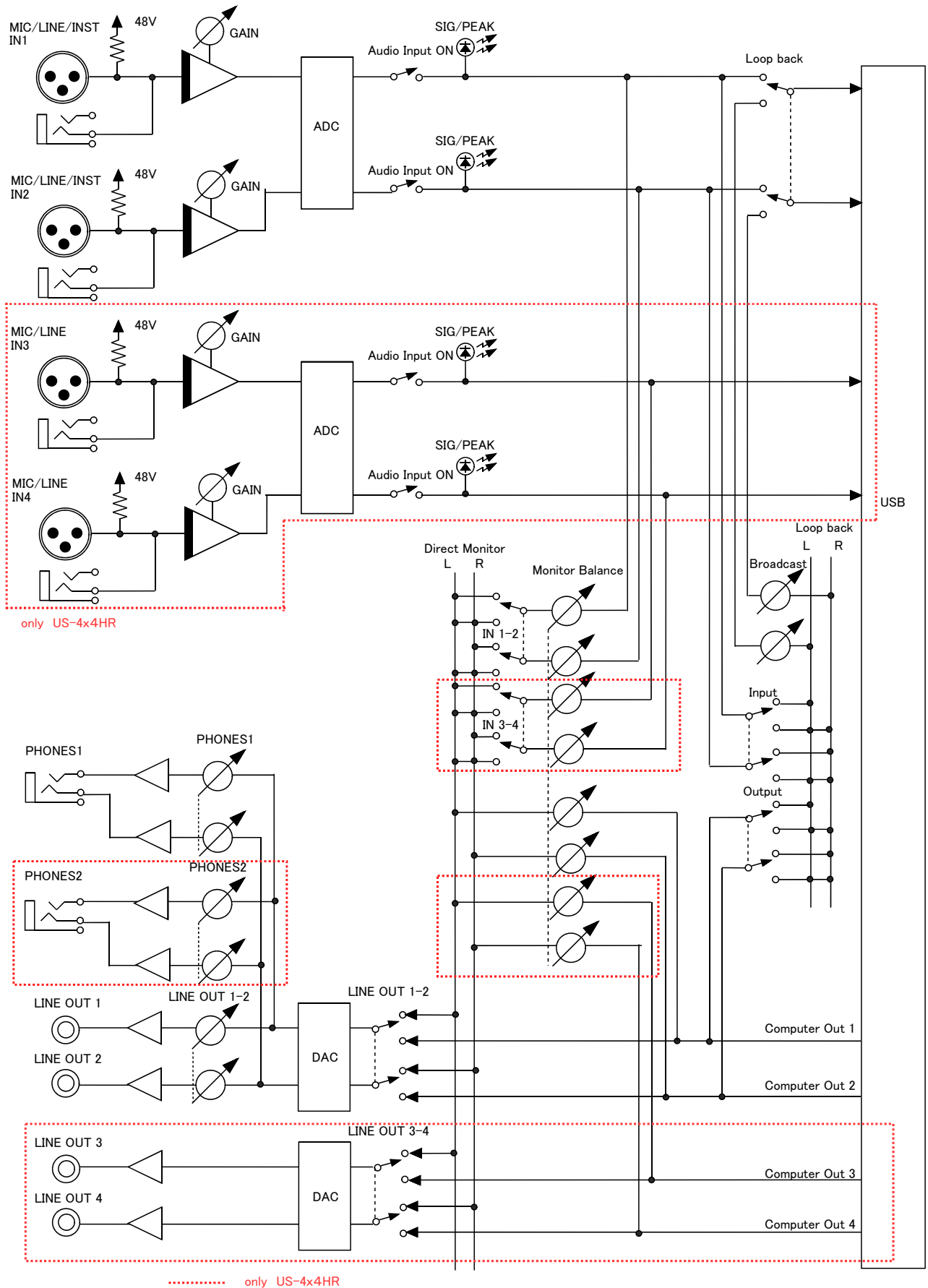


US-4x4HR



- リファレンスマニュアルのイラストが一部製品と異なる場合があります。
- 製品の改善により、仕様および外観が予告なく変更することがあります。

ブロックダイアグラム



ティアック株式会社 〒206-8530 東京都多摩市落合 1-47

この製品の取り扱いなどに関するお問い合わせは

タスカム カスタマーサポート 〒206-8530 東京都多摩市落合 1-47

● 電話 **042-356-9137** 携帯電話・PHS・IP電話から

● ナビダイヤル  **0570-000-809** 一般電話から

● FAX **042-356-9185**

受付時間は、10:00～12:00 / 13:00～17:00 です。(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

ティアック修理センター 〒358-0026 埼玉県入間市小谷田 858

● 電話 **04-2901-1033** 携帯電話・PHS・IP電話から

● ナビダイヤル  **0570-000-501** 一般電話から

● FAX **04-2901-1036**

受付時間は、9:30～17:00 です。(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

■ 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。